

## 「新指定・新登録」答申物件

### 《史跡名勝天然記念物の新指定》

#### 【史跡】 3件

#### 1 三戸城跡【青森県三戸郡三戸町】

戦国時代に北奥羽一帯を治めた南部家によって築かれた盛岡城以前の本城のひとつ。発掘調査成果と古文書や絵図から、17世紀前半の城の姿が復元できるなど、戦国末期から近世初頭における北東北の築城技術を知る上で重要。

（戦国時代に北奥羽一帯を治めた南部家によって築かれた、盛岡城以前の本城）



提供：三戸町

#### 2 柏木城跡【福島県耶麻郡北塩原村】

伊達政宗による会津侵攻の際、蘆名氏の防衛拠点となった城跡。蘆名氏、伊達氏といった戦国期における南東北の二大勢力の抗争を具体的に示すとともに、当時の築城技術や防御思想などを知る上で重要。

（伊達政宗による会津侵攻の際、蘆名氏の防衛拠点となった城跡）



提供：北塩原村

#### 3 八代海干拓遺跡【熊本県八代市】

江戸時代後期から昭和初期にかけて、八代海干拓のため築かれた石造の干拓施設で、潮受堤防と樋門（水門）からなる。江戸時代以来の八代海干拓事業と、干拓施設築造技術の進展がわかる遺跡。近代への連続性もうかがえ、我が国の干拓技術を知る上で重要。

（江戸時代後期から昭和初期にかけて、八代海干拓のため築かれた潮受堤防や水門）



提供：八代市

【名勝】 1件

1 <sup>とくさ</sup>徳佐（サクラ）<sup>やまぐちし</sup>【山口県山口市】

<sup>とくさはちまんぐうさんどう</sup>徳佐八幡宮参道の約370mにわたる桜並木で、枝垂れ桜を中心とする。100本余りの桜のうち、約4分の3が枝垂れ桜の系統で、19世紀前半に、<sup>しやうや</sup>当時庄屋であった<sup>つばきまさなお</sup>椿正直が主導して植栽したものがはじまりと伝わる。

（徳佐八幡宮参道の370mにわたる桜並木で、枝垂れ桜を中心とする）



提供：山口市

【天然記念物】 3件

1 <sup>れぶんとうもいわたたい</sup>礼文島桃岩一帯の<sup>こうざんしょくぶつぐんらく</sup>高山植物群落【<sup>れぶんぐんれぶんちやう</sup>北海道礼文郡礼文町】

礼文島桃岩一帯の高山植物群落は、海岸沿いの低標高地に発達しており、<sup>ふうしやう</sup>風衝や物理的に不安定な表土といった特殊な立地に成立するものである。<sup>しゆたようせい</sup>種多様性が高く、<sup>こゆうしゆ</sup>固有種と特に<sup>かくりぶんぶしゆ</sup>隔離分布種が豊富である。第四紀の気候変動に伴う高山植物の移動を理解する上で<sup>しょくぶつちりがくてき</sup>植物地理学的に貴重である。

（海岸沿いの風衝や物理的に不安定な表土といった特殊な立地に遺存し成立している高山植物群落）



提供：礼文町

2 <sup>かせきた がひやうほん</sup>アケボノゾウ化石多賀標本【<sup>いぬかみぐんたがちやう</sup>滋賀県犬上郡多賀町】

約180万年前の日本列島に生息していたゾウの化石。<sup>にほんこゆうしゆ</sup>日本固有種で、環境に合わせて進化し小型化した。保存状態が良く全身の骨の約7割が産出し、正確な復元が可能。運動機能の特性や<sup>こうどうせいたい</sup>行動生態などの適応進化についての研究の進展が期待され、<sup>おおがたほにゆうるいか</sup>日本を象徴する大型哺乳類化石標本である。

（約180万年前に日本列島に生息し、日本の環境に合わせて小型進化したゾウの化石）



提供：多賀町

### 3 東峰村の阿蘇4火砕流堆積物及び埋没樹木【福岡県朝倉郡東峰村】

約9万年前に発生した日本列島最大級の破局噴火で生じた火砕流（阿蘇4火砕流）堆積物と埋没樹木。堆積物の内部構造や埋没樹木に加えて、古土壌からかつての森林の様子が復元され貴重である。日本最大級の火砕流の拡散経路や速度の推定が期待され、価値が高い。

（約9万年前に生じた日本最大級の火砕流（阿蘇4火砕流）の堆積物と埋没樹木）



提供：東峰村

#### 《登録記念物の新登録》

#### 【名勝地関係】 1件

### 1 鍋山（南屏峡）【大分県豊後高田市】

国東半島南西部の田染に所在し、桂川上流域の左岸の岩峰群と対岸の三宮八幡神社の境内地から成る名勝地である。天を衝くように聳え並び立つ柱状の岩峰群に特徴付けられる景勝地であり、江戸時代から田染に伝えられてきた名所と信仰との関係を知る上で意義深い。

（柱状を成して天を衝くように聳え並び立つ岩峰群の景勝地）



提供：豊後高田市